

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商 品 分 類	追加型投信／海外／債券	
信 託 期 間	約 9 年10カ月間（2013年 7 月10日～2023年 5 月12日）	
運 用 方 針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビー ファンド	イ. インド・ルピー建ての債券 ロ. インド・ルピー以外の通貨建ての債券のうち、次のもの i. インドの政府、政府関係機関および企業が発行する債券 ii. 国際機関等が発行する債券 ※以下、イ. およびロ. の債券を総称して「インド債券等」といいます。 ハ. ダイワ・インド・ルピー マザーファンドの受益証券
ベビーファンドの運用方法	①主として、インド債券等に投資することにより信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。 ※インド債券等への投資に当っては、マザーファンドを通じて投資を行なう場合があります。 ②運用に当っては、以下の方針を基本とします。 イ. 投資対象は、次の債券とします。 i. インド・ルピー建ての債券 ii. インド・ルピー以外の通貨建ての債券のうち、次のもの a. インドの政府、政府関係機関および企業（※）が発行する債券 b. 国際機関等が発行する債券 （※）インドの企業とは、インド国内に本社を置いている企業等、委託会社がインドの企業であると判断した企業とします。 （注）国際機関等が発行する債券への投資割合は、投資枠の獲得状況等によって高くなる場合があります。 ロ. インド・ルピー以外の通貨建ての債券に投資する場合、原則として、為替予約取引および直物為替先渡取引等を活用し、実質的にインド・ルピー建てとなるように為替取引を行ないます。 ハ. 金利や物価の動向、経済情勢や市場環境等を勘案し、ポートフォリオを構築します。 ③外貨建資産の運用に当っては、ダイワ・ポートフォリオ・アドバイザー（インド）プライベート・リミテッドおよび SBI Funds Management Private Limited の助言を受けます。 ④インド債券等の組入比率は、通常の状態では高位に維持することを基本とします。 ⑤為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。	
組 入 制 限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	純資産総額の10%以下
分 配 方 針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。また、第 1 および第 2 計算期末には、収益の分配は行ないません。	

当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行ないます。ファミリーファンド方式とは、受益者からの資金をまとめてベビーファンド（当ファンド）とし、その資金を主としてマザーファンドの受益証券に投資して、実質的な運用をマザーファンドで行なう仕組みです。

インド・ボンド・オープン （毎月決算型）

運用報告書（全体版）

第23期（決算日	2015年 6 月12日）
第24期（決算日	2015年 7 月13日）
第25期（決算日	2015年 8 月12日）
第26期（決算日	2015年 9 月14日）
第27期（決算日	2015年10月13日）
第28期（決算日	2015年11月12日）

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「インド・ボンド・オープン（毎月決算型）」は、このたび、第28期の決算を行ないました。

ここに、第23期～第28期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目 9 番 1 号

お問い合わせ先（コールセンター）

TEL 0 1 2 0 - 1 0 6 2 1 2

（営業日の 9：00～17：00）

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			ＪＰモルガンＧＢＩーＥＭインド (円換算)		公 社 債 組入比率	純 資 産 総 額
	(分配落)	税 込 金 分 配	期 騰 落 率	(参考指数)	期 騰 落 率		
	円	円	%		%	%	百万円
1 期末 (2013年 8 月12日)	9,066	—	△ 9.3	9,029	△ 9.7	94.8	0
2 期末 (2013年 9 月12日)	8,942	—	△ 1.4	8,931	△ 1.1	94.2	0
3 期末 (2013年10月15日)	9,097	10	1.8	9,163	2.6	94.2	0
4 期末 (2013年11月12日)	8,946	10	△ 1.5	8,932	△ 2.5	93.3	0
5 期末 (2013年12月12日)	9,591	10	7.3	9,591	7.4	93.3	0
6 期末 (2014年 1 月14日)	9,755	10	1.8	9,766	1.8	92.6	0
7 期末 (2014年 2 月12日)	9,556	10	△ 1.9	9,595	△ 1.7	94.3	0
8 期末 (2014年 3 月12日)	9,806	10	2.7	9,898	3.2	95.3	0
9 期末 (2014年 4 月14日)	9,823	10	0.3	9,936	0.4	96.7	0
10期末 (2014年 5 月12日)	10,132	10	3.2	10,246	3.1	96.2	1
11期末 (2014年 6 月12日)	10,515	10	3.9	10,684	4.3	96.6	1
12期末 (2014年 7 月14日)	10,232	10	△ 2.6	10,385	△ 2.8	97.4	1
13期末 (2014年 8 月12日)	10,128	10	△ 0.9	10,341	△ 0.4	96.5	1
14期末 (2014年 9 月12日)	10,807	10	6.8	11,053	6.9	96.8	1
15期末 (2014年10月14日)	10,893	10	0.9	11,149	0.9	96.7	1
16期末 (2014年11月12日)	11,975	10	10.0	12,309	10.4	96.3	1
17期末 (2014年12月12日)	12,491	10	4.4	12,864	4.5	96.9	1
18期末 (2015年 1 月13日)	12,443	10	△ 0.3	12,856	△ 0.1	97.0	1
19期末 (2015年 2 月12日)	12,796	10	2.9	13,247	3.0	97.4	1
20期末 (2015年 3 月12日)	12,826	10	0.3	13,342	0.7	92.4	1
21期末 (2015年 4 月13日)	12,905	60	1.1	13,410	0.5	93.0	171
22期末 (2015年 5 月12日)	12,363	60	△ 3.7	12,962	△ 3.3	97.7	181
23期末 (2015年 6 月12日)	12,699	60	3.2	13,309	2.7	98.5	186
24期末 (2015年 7 月13日)	12,775	60	1.1	13,490	1.4	99.1	187
25期末 (2015年 8 月12日)	12,880	60	1.3	13,653	1.2	98.5	203
26期末 (2015年 9 月14日)	11,947	60	△ 6.8	12,872	△ 5.7	97.7	191
27期末 (2015年10月13日)	12,308	60	3.5	13,338	3.6	96.8	197
28期末 (2015年11月12日)	12,252	60	0.0	13,411	0.5	97.4	216

(注 1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注 2) J P モルガン G B I ー E M インド (円換算) は、J P モルガン G B I ー E M インド (インド・ルピーベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。J P モルガン G B I ー E M インド (インド・ルピーベース) は、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J. P. Morgan はその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J. P. Morgan からの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2014, J. P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

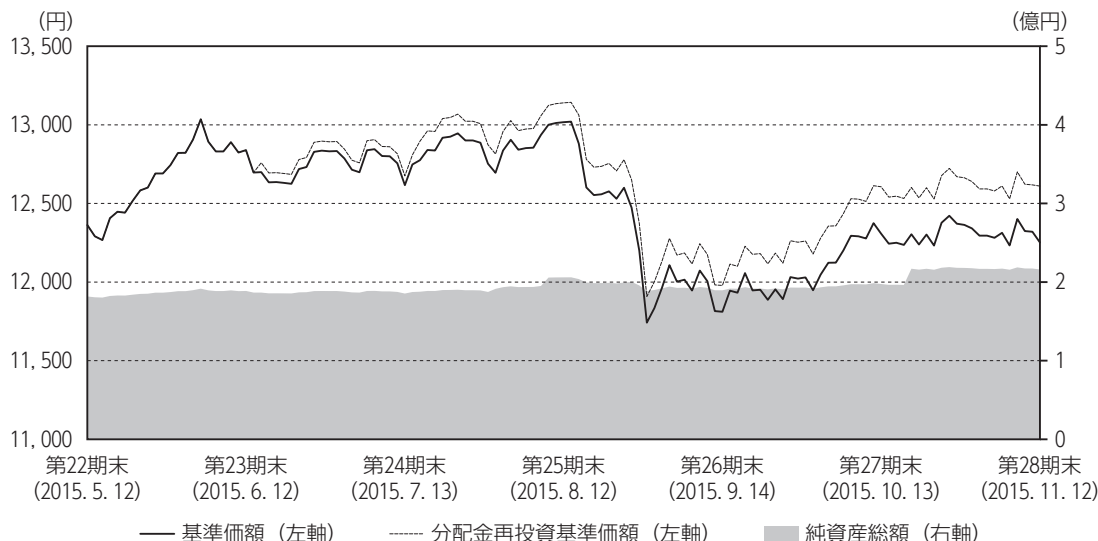
(注 3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注 4) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注 5) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

《運用経過》

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまが利用するコースにより異なります。また、分配金の課税条件は、ファンドの購入価額により異なります。

■基準価額・騰落率

第23期首：12,363円

第28期末：12,252円（既払分配金360円）

騰落率：2.0%（分配金再投資ベース）

■基準価額の主な変動要因

主にインド・ルピー建ての債券に投資した結果、インド・ルピーは対円で下落しましたが、債券の価格上昇に加えて利息収入により、基準価額（分配金再投資ベース）は値上がりしました。

インド・ボンド・オープン（毎月決算型）

	年 月 日	基 準 価 額		J PモルガンGB IーEMインド (円換算)		公 社 債 入 率 組 比
			騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率	
第23期	(期首) 2015年 5 月12日	円 12, 363	% —	12, 962	% —	% 97. 7
	5 月末	12, 822	3. 7	13, 457	3. 8	96. 8
	(期末) 2015年 6 月12日	12, 759	3. 2	13, 309	2. 7	98. 5
第24期	(期首) 2015年 6 月12日	12, 699	—	13, 309	—	98. 5
	6 月末	12, 715	0. 1	13, 289	△ 0. 1	98. 9
	(期末) 2015年 7 月13日	12, 835	1. 1	13, 490	1. 4	99. 1
第25期	(期首) 2015年 7 月13日	12, 775	—	13, 490	—	99. 1
	7 月末	12, 842	0. 5	13, 534	0. 3	98. 7
	(期末) 2015年 8 月12日	12, 940	1. 3	13, 653	1. 2	98. 5
第26期	(期首) 2015年 8 月12日	12, 880	—	13, 653	—	98. 5
	8 月末	12, 002	△ 6. 8	12, 823	△ 6. 1	97. 4
	(期末) 2015年 9 月14日	12, 007	△ 6. 8	12, 872	△ 5. 7	97. 7
第27期	(期首) 2015年 9 月14日	11, 947	—	12, 872	—	97. 7
	9 月末	12, 047	0. 8	13, 040	1. 3	97. 1
	(期末) 2015年10月13日	12, 368	3. 5	13, 338	3. 6	96. 8
第28期	(期首) 2015年10月13日	12, 308	—	13, 338	—	96. 8
	10月末	12, 295	△ 0. 1	13, 343	0. 0	97. 0
	(期末) 2015年11月12日	12, 312	0. 0	13, 411	0. 5	97. 4

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について**○債券市況**

インド・ルピー建て債券金利は低下、米ドル建て社債金利は上昇しました。インド・ルピー建て債券市場では、原油安によるインフレ沈静化見通しが広がる中、RBI（インド準備銀行）が金融緩和政策を継続したことが金利低下要因となりました。政策金利は2015年6月と9月にそれぞれ0.25%ポイントと0.50%ポイント引下げられました。米ドル建て社債市場では、FRB（米国連邦準備制度理事会）が米国経済の回復を背景に利上げ機会をうかがっていたため、金利は上昇しました。

○為替相場

インド・ルピーの対円レートは小幅下落しました。米国の利上げ観測が新興国通貨の下落圧力になり続けた反面、モディ政権による経済改革期待はルピーの下支え要因となりました。このため、ルピーは狭いレンジ内で推移しました。しかし、2015年6月中旬をピークに中国株が急落したことをきっかけに中国経済への警戒感が広がると投資家のリスク回避姿勢が強まったため、ルピーをはじめとした新興国通貨が全般に下落しました。その後は第28期末にかけて、グローバルの投資環境が落ち着くにつれてルピーは戻り歩調となりました。

前作成期間末における「今後の運用方針」**○当ファンド**

直接投資と「ダイワ・インド・ルピー債マザーファンド」の受益証券を通じて、インド・ルピー建て債券等に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。

○ダイワ・インド・ルピー債マザーファンド

インドはモディ首相を軸に経済改革を進めており、今後の高い経済成長が期待できる新興国の一つです。利回り水準も高く、長期保有に適した魅力的な投資対象です。債券ポートフォリオはインド・ルピー建ての債券を中心に運用します。また、一部米ドル建債券を組入れて運用する方針です。なお米ドル建債券は、NDF取引を利用して実質的にルピーを保有するのと同様の効果が得られるよう努めます。

ポートフォリオについて

○当ファンド

直接投資と「ダイワ・インド・ルピー債マザーファンド」の受益証券を通じて、インド・ルピー建債券等に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしました。

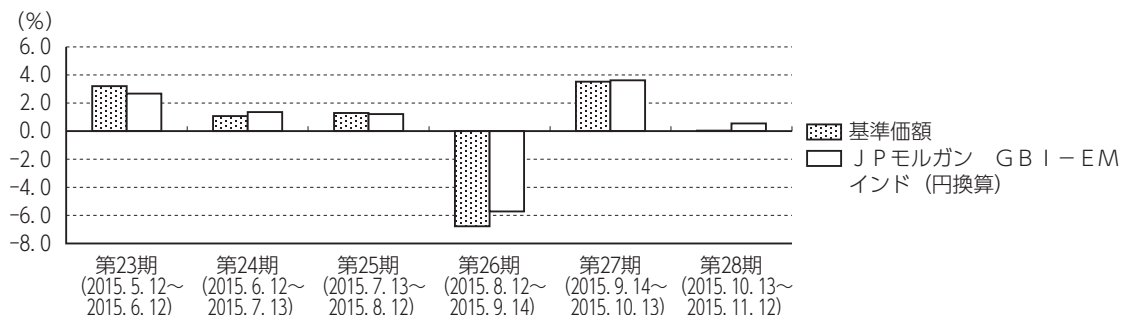
○ダイワ・インド・ルピー債マザーファンド

債券ポートフォリオは、国債を中心にインド・ルピー建債券等に投資しました。また、米ドル建社債に投資した部分については直物為替先渡取引等を活用し、実質的にインド・ルピー建てとなるように為替取引を行ないました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。参考指数はインド債券市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。



分配金について

第23期から第28期の1万口当り分配金（税込み）はそれぞれ60円といたしました。

収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第23期	第24期	第25期	第26期	第27期	第28期
	2015年5月13日 ～2015年6月12日	2015年6月13日 ～2015年7月13日	2015年7月14日 ～2015年8月12日	2015年8月13日 ～2015年9月14日	2015年9月15日 ～2015年10月13日	2015年10月14日 ～2015年11月12日
当期分配金（税込み）（円）	60	60	60	60	60	60
対基準価額比率（％）	0.47	0.47	0.46	0.50	0.49	0.49
当期の収益（円）	60	60	60	56	60	51
当期の収益以外（円）	—	—	—	3	—	8
翌期繰越分配対象額（円）	2,968	2,975	2,986	2,983	2,989	2,984

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第23期	第24期	第25期	第26期	第27期	第28期
(a) 経費控除後の配当等収益	72.40円	66.52円	67.93円	56.91円	65.91円	51.85円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	2,839.24	2,839.24	2,852.07	2,854.44	2,854.44	2,869.91
(d) 分配準備積立金	116.81	129.22	126.07	132.15	129.06	122.84
(e) 当期分配対象額（a + b + c + d）	3,028.47	3,035.00	3,046.09	3,043.51	3,049.43	3,044.61
(f) 分配金	60.00	60.00	60.00	60.00	60.00	60.00
(g) 翌期繰越分配対象額（e - f）	2,968.47	2,975.00	2,986.09	2,983.51	2,989.43	2,984.61

（注）下線を付した該当項目から分配金を計上しています。

《今後の運用方針》

○当ファンド

「ダイワ・インド・ルピー債マザーファンド」の受益証券等を通じて、インド・ルピー建債券等に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。

○ダイワ・インド・ルピー債マザーファンド

当ファンドの商品性格に鑑み、主として、インド債券等に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。債券ポートフォリオにつきましては、インド・ルピー建ての債券とインド・ルピー以外の通貨建ての債券に投資します。インド・ルピー以外の通貨建ての債券に投資する場合、原則として、為替予約取引および直物為替先渡取引等を活用し、実質的にインド・ルピー建てとなるように為替取引を行ないます。実際の運用においては、政策金利の見通し、金融市場の動向、経済のファンダメンタルズなどを勘案し運用いたします。

1 万口当りの費用の明細

項 目	第23期～第28期		項 目 の 概 要
	(2015. 5. 13～2015. 11. 12)		
	金 額	比 率	
信託報酬	90円	0. 724%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は12, 479円です。
(投信会社)	(40)	(0. 324)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
(販売会社)	(47)	(0. 378)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託銀行)	(3)	(0. 021)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	26	0. 205	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(保管費用)	(10)	(0. 077)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0. 004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他)	(16)	(0. 125)	特定資産の価格等の調査費用等
合 計	116	0. 929	

（注 1）期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

（注 2）金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

（注 3）比率欄は 1 万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

インド・ボンド・オープン（毎月決算型）

■売買および取引の状況

(1)公 社 債

(2015年 5月13日から2015年11月12日まで)

決 算 期			第 23 期 ～ 第 28 期	
			買 付 額	売 付 額
外 国	アメリカ	社債券	千アメリカ・ドル —	千アメリカ・ドル 201 (—)
	インド	特殊債券	千インド・ルピー —	千インド・ルピー 67,506 (—)

(注 1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
(注 2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
(注 3) 社債券には新株予約権付社債券（転換社債券）は含まれておりません。
(注 4) 単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2015年 5月13日から2015年11月12日まで)

決 算 期	第 23 期 ～ 第 28 期			
	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千□	千円	千□	千円
ダイワ・インド・ルピー債 マザーファンド	105,925	197,303	3,690	6,792

(注) 単位未満は切捨て。

(3) 直物為替先渡取引

(2015年 5月13日から2015年11月12日まで)

種 類	取 引 契 約 金 額	
	買 建	売 建
	百万円	百万円
直物為替先渡取引	100	25

(注 1) インド・ルピー（対象通貨）の買建および売建の金額です。
(注 2) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

公 社 債

(2015年 5月13日から2015年11月12日まで)

第 23 期 ～ 第 28 期			
買 付		売 付	
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
	千円		千円
		INTL. FIN. CORP.（国際機関） 8.25% 2021/6/10	51,666
		INTL. FIN. CORP.（国際機関） 7.8% 2019/6/3	49,483
		INTL. FIN. CORP.（国際機関） 6.3% 2024/11/25	22,753
		ICICI Bank Ltd/Hong Kong（インド） 5% 2016/1/15	12,201
		Bank of India/London（インド） 4.75% 2015/9/30	12,172

(注 1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
(注 2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

当作成期間（第23期～第28期）中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	第22期末	第 28 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千□	千□	千円
ダイワ・インド・ルピー債 マザーファンド	14,854	117,089	217,365

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2015年11月12日現在

項 目	第 28 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ・インド・ルピー債 マザーファンド	217,365	99.9
コール・ローン等、その他	115	0.1
投資信託財産総額	217,481	100.0

（注1）評価額の単位未満は切捨て。

（注2）外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、11月12日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝122.86円、1インド・ルピー＝1.87円です。

（注3）ダイワ・インド・ルピー債マザーファンドにおいて、第28期末における外貨建純資産（2,256,611千円）の投資信託財産総額（2,271,151千円）に対する比率は、99.4%です。

■特定資産の価格等の調査

当ファンドおよび主要投資対象であるダイワ・インド・ルピー債マザーファンドにおいて行なった取引のうち、投資信託および投資法人に関する法律により価格等の調査が必要とされた資産の取引については、あずさ監査法人へその調査を委託しました。対象期間中（2015年5月13日～2015年11月12日）に該当した取引は、直物為替先渡取引が当ファンドで8件、ダイワ・インド・ルピー債マザーファンドで18件あり、該当取引については当該監査法人からの調査報告書を受領しました。

なお、直物為替先渡取引については、取引の相手方の名称、通貨の種類、売買の別、想定元本、満期日その他当該取引の内容に関することについて調査を委託しました。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

（2015年6月12日）、（2015年7月13日）、（2015年8月12日）、（2015年9月14日）、（2015年10月13日）、（2015年11月12日）現在

項 目	第23期末	第24期末	第25期末	第26期末	第27期末	第28期末
(A) 資産	187,717,775円	188,890,859円	205,256,743円	193,189,180円	198,885,507円	217,481,138円
コール・ローン等	200,960	37,763	28,641	247,199	26,979	52,009
公社債（評価額）	155,962,797	156,642,922	145,721,426	34,428,991	—	—
ダイワ・インド・ルピー債 マザーファンド（評価額）	28,727,677	30,207,360	57,438,746	157,892,003	198,511,032	217,365,467
未収入金	93,641	466,917	120,819	—	283,834	—
未収利息	1,225,097	1,374,385	1,899,010	560,706	—	—
前払費用	1,487,820	127,605	—	—	—	—
その他未収収益	19,783	33,907	48,101	60,281	63,662	63,662
(B) 負債	1,111,153	1,167,901	1,456,056	1,481,410	1,378,112	1,453,406
未払金	—	—	218,824	150,978	51,671	—
未払収益分配金	881,701	881,701	949,413	962,789	962,789	1,057,911
未払信託報酬	228,195	229,672	230,020	254,440	222,219	252,663
その他未払費用	1,257	56,528	57,799	113,203	141,433	142,832
(C) 純資産総額（A－B）	186,606,622	187,722,958	203,800,687	191,707,770	197,507,395	216,027,732
元本	146,950,190	146,950,190	158,235,557	160,464,914	160,464,914	176,318,555
次期繰越損益金	39,656,432	40,772,768	45,565,130	31,242,856	37,042,481	39,709,177
(D) 受益権総口数	146,950,190口	146,950,190口	158,235,557口	160,464,914口	160,464,914口	176,318,555口
1万口当り基準価額（C／D）	12,699円	12,775円	12,880円	11,947円	12,308円	12,252円

* 第22期末における元本額は146,950,190円、当作成期間（第23期～第28期）中における追加設定元本額は29,368,365円、同解約元本額は0円です。

* 第28期末の計算口数当りの純資産額は12,252円です。

インド・ボンド・オープン（毎月決算型）

■損益の状況

第23期 自 2015年5月13日 至 2015年6月12日	第25期 自 2015年7月14日 至 2015年8月12日	第27期 自 2015年9月15日 至 2015年10月13日				
第24期 自 2015年6月13日 至 2015年7月13日	第26期 自 2015年8月13日 至 2015年9月14日	第28期 自 2015年10月14日 至 2015年11月12日				
項 目	第23期	第24期	第25期	第26期	第27期	第28期
(A) 配当等収益	951, 132円	942, 493円	918, 386円	221, 727円	136, 809円	—円
受取利息	938, 352	928, 369	904, 192	209, 547	133, 428	—
その他収益金	12, 780	14, 124	14, 194	12, 180	3, 381	—
(B) 有価証券売買損益	4, 959, 806	950, 074	2, 023, 404	△ 13, 542, 789	6, 576, 436	448, 532
売買益	5, 705, 858	1, 234, 683	2, 104, 768	—	6, 910, 077	448, 533
売買損	△ 746, 052	△ 284, 609	△ 81, 364	△ 13, 542, 789	△ 333, 641	△ 1
(C) 先物取引等損益	220, 336	410, 392	△ 207, 571	△ 297, 466	302, 702	12
取引益	345, 397	503, 305	488, 139	482, 808	433, 982	340, 317
取引損	△ 125, 061	△ 92, 913	△ 695, 710	△ 780, 274	△ 131, 280	△ 340, 305
(D) 信託報酬等	△ 318, 273	△ 304, 922	△ 236, 330	△ 320, 589	△ 253, 533	△ 268, 964
(E) 当期損益金 (A + B + C + D)	5, 813, 001	1, 998, 037	2, 497, 889	△ 13, 939, 117	6, 762, 414	179, 580
(F) 前期繰越損益金	△ 5, 839, 973	△ 908, 673	207, 663	1, 756, 139	△ 13, 145, 767	△ 7, 346, 142
(G) 追加信託差損益金	40, 565, 105	40, 565, 105	43, 808, 991	44, 388, 623	44, 388, 623	47, 933, 650
(配当等相当額)	(41, 722, 726)	(41, 722, 726)	(45, 130, 034)	(45, 803, 882)	(45, 803, 882)	(50, 601, 922)
(売買損益相当額)	(△ 1, 157, 621)	(△ 1, 157, 621)	(△ 1, 321, 043)	(△ 1, 415, 259)	(△ 1, 415, 259)	(△ 2, 668, 272)
(H) 合計 (E + F + G)	40, 538, 133	41, 654, 469	46, 514, 543	32, 205, 645	38, 005, 270	40, 767, 088
(I) 収益分配金	△ 881, 701	△ 881, 701	△ 949, 413	△ 962, 789	△ 962, 789	△ 1, 057, 911
次期繰越損益金 (H + I)	39, 656, 432	40, 772, 768	45, 565, 130	31, 242, 856	37, 042, 481	39, 709, 177
追加信託差損益金	40, 565, 105	40, 565, 105	43, 808, 991	44, 388, 623	44, 388, 623	47, 933, 650
(配当等相当額)	(41, 722, 726)	(41, 722, 726)	(45, 130, 034)	(45, 803, 882)	(45, 803, 882)	(50, 601, 922)
(売買損益相当額)	(△ 1, 157, 621)	(△ 1, 157, 621)	(△ 1, 321, 043)	(△ 1, 415, 259)	(△ 1, 415, 259)	(△ 2, 668, 272)
分配準備積立金	1, 899, 025	1, 994, 971	2, 120, 562	2, 071, 069	2, 165, 988	2, 022, 329
繰越損益金	△ 2, 807, 698	△ 1, 787, 308	△ 364, 423	△ 15, 216, 836	△ 9, 512, 130	△ 10, 246, 802

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程（総額）」の表を参照。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第23期	第24期	第25期	第26期	第27期	第28期
(a) 経費控除後の配当等収益	1, 064, 066円	977, 647円	1, 075, 004円	913, 296円	1, 057, 708円	914, 252円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	41, 722, 726	41, 722, 726	45, 130, 034	45, 803, 882	45, 803, 882	50, 601, 922
(d) 分配準備積立金	1, 716, 660	1, 899, 025	1, 994, 971	2, 120, 562	2, 071, 069	2, 165, 988
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	44, 503, 452	44, 599, 398	48, 200, 009	48, 837, 740	48, 932, 659	53, 682, 162
(f) 分配金	881, 701	881, 701	949, 413	962, 789	962, 789	1, 057, 911
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	43, 621, 751	43, 717, 697	47, 250, 596	47, 874, 951	47, 969, 870	52, 624, 251
(h) 受益権総口数	146, 950, 190□	146, 950, 190□	158, 235, 557□	160, 464, 914□	160, 464, 914□	176, 318, 555□

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1 万口当り分配金	第23期	第24期	第25期	第26期	第27期	第28期
	60円	60円	60円	60円	60円	60円
（単 価）	(12, 699円)	(12, 775円)	(12, 880円)	(11, 947円)	(12, 308円)	(12, 252)

- 〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、上記（ ）内の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

【訂正のお知らせ】

作成対象期間の末日が2015年5月12日の交付運用報告書および運用報告書（全体版）につきまして、「1万口当りの費用の明細」の表の「項目の概要」における次の記載にて下線部が不要でした。お詫び申し上げますとともに、下線部を除いてお読み替えますようお願い申し上げます。

「期中の平均基準価額（月末値の平均値）」は12,577円です。」

ダイワ・インド・ルピー債マザーファンド

運用報告書 第4期（決算日 2015年11月12日）

（計算期間 2014年11月13日～2015年11月12日）

ダイワ・インド・ルピー債マザーファンドの第4期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	イ. インド・ルピー建ての債券 ロ. インド・ルピー以外の通貨建ての債券のうち、次のもの i. インドの政府、政府関係機関および企業が発行する債券 ii. 国際機関等が発行する債券 ※以下、イ. およびロ. の債券を総称して「インド債券等」といいます。
運用方法	①主として、インド債券等に投資することにより信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。 ②運用にあたっては、以下の方針を基本とします。 イ. 投資対象は、次の債券とします。 i. インド・ルピー建ての債券 ii. インド・ルピー以外の通貨建ての債券のうち、次のもの a. インドの政府、政府関係機関および企業（※）が発行する債券 b. 国際機関等が発行する債券 （※）インドの企業とは、インド国内に本社を置いている企業等、委託会社がインドの企業であると判断した企業とします。 （注）国際機関等が発行する債券への投資割合は、投資枠の獲得状況等によって高くなる場合があります。 ロ. インド・ルピー以外の通貨建ての債券に投資する場合、原則として、為替予約取引および直物為替先渡取引等を活用し、実質的にインド・ルピー建てとなるように為替取引を行ないます。 ハ. 金利や物価の動向、経済情勢や市場環境等を勘案し、ポートフォリオを構築します。 ③外貨建資産の運用にあたっては、ダイワ・ポートフォリオ・アドバイザリー（インド）プライベート・リミテッドおよびSBI Funds Management Private Limitedの助言を受けます。 ④為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。
株式組入制限	純資産総額の10%以下

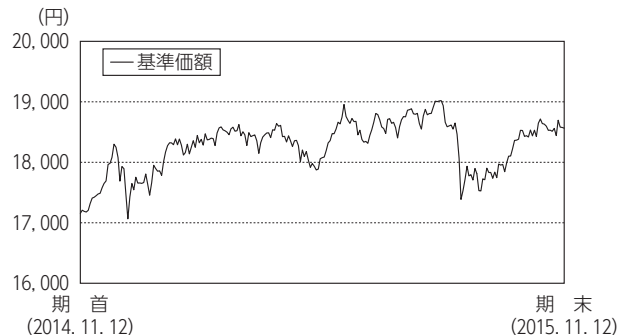
大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当期中の基準価額と市況の推移



年 月 日	基 準 価 額		J Pモルガン G B I - E M インド (円換算)		公 社 債 組 入 比 率
	円	騰落率 %	(参考指数)	騰落率 %	
(期首) 2014年11月12日	17,155	—	16,552	—	96.5
11月末	17,580	2.5	16,903	2.1	96.8
12月末	17,666	3.0	17,063	3.1	97.7
2015年 1 月末	18,282	6.6	17,674	6.8	97.8
2 月末	18,568	8.2	17,943	8.4	97.8
3 月末	18,417	7.4	17,895	8.1	97.1
4 月末	18,095	5.5	17,534	5.9	96.8
5 月末	18,635	8.6	18,096	9.3	96.1
6 月末	18,558	8.2	17,871	8.0	97.3
7 月末	18,785	9.5	18,200	10.0	97.0
8 月末	17,775	3.6	17,245	4.2	97.0
9 月末	17,987	4.8	17,536	5.9	96.8
10 月末	18,528	8.0	17,944	8.4	96.9
(期末) 2015年11月12日	18,564	8.2	18,035	9.0	96.8

(注 1) 騰落率は期首比。

(注 2) J Pモルガン G B I - E M インド (円換算) は、J Pモルガン G B I - E M インド (インド・ルピーベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。J Pモルガン G B I - E M インド (インド・ルピーベース) は、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morgan はその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用していません。J.P. Morgan からの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2014, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

(注 3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注 4) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) および債券先物を除きます。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：17,155円 期末：18,564円 騰落率：8.2%

【基準価額の主な変動要因】

主にインド・ルピー建ての債券に投資した結果、インド・ルピーは対円で下落しましたが、債券の価格上昇に加えて利息収入により、基準価額は値上がりしました。

◆投資環境について

○インド債券市況

インド・ルピー建て債券金利は低下、米ドル建て社債金利は上昇しました。インド・ルピー建て債券市場では、R B I (インド準備銀行) が、モディ首相の進める経済改革・構造改革を金融面からサポートするため金融緩和姿勢を継続したことが、金利低下の背景となりました。実際に R B I は原油安によるインフレ沈静化見通しを強めたため、政策金利を2015年に入り4回下げました。一方米ドル建て社債市場では、F R B (米国連邦準備制度理事会) が景気回復を背景に利上げ機会を伺う投資環境でした。経済指標の改善が必ずしも一様でなかったほか、米ドル高による企業収益の鈍化などが懸念されたため、市場では利上げ観測が後退する局面が見られました。しかし次の一手は利上げという見方が市場で継続したため、2015年春以降はおおむね金利は上昇基調で推移しました。

○為替相場

インド・ルピーの対円レートは小幅下落しました。米国の利上げ観測が新興国通貨の下落圧力になり続けたほか、原油価格などの商品価格の下落が新興国通貨全般に逆風となりました。ルピーはモディ政権による経済改革期待が支え要因となり、2015年7月までは比較的狭いレンジ内で推移しました。しかし、6月中旬をピークに中国株が急落したことをきっかけに中国経済への警戒感が広がると、投資家のリスク回避姿勢が強まったため、夏場にはルピーをはじめとした新興国通貨が全般に下落しました。その後は期末にかけて、グローバルの投資環境が落ち着くにつれてルピーは戻り歩調となりました。

◆前期における「今後の運用方針」

当ファンドの商品性格に鑑み、主として、インド債券等に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。債券ポートフォリオにつきましては、インド・ルピー建ての債券とインド・ルピー以外の通貨建ての債券に投資します。インド・ルピー以外の通貨建ての債券に投資する場合、原則として、為替予約取引および直物為替先渡取引等を活用し、実質的にインド・ルピー建てとなるように為替取引を行ないます。実際の運用においては、政策金利の見通し、金融市場の動向、経済のファンダメンタルズなどを勘案し運用いたします。

◆ポートフォリオについて

債券ポートフォリオは、国債を中心にインド・ルピー建債券等に投資しました。また、米ドル建社債に投資した部分については直物為替先渡取引等を活用し、実質的にインド・ルピー建てとなるように為替取引を行ないました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当期中の基準価額と市況の推移」をご参照ください。参考指数はインド債券市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。

《今後の運用方針》

当ファンドの商品性格に鑑み、主として、インド債券等に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。債券ポートフォリオにつきましては、インド・ルピー建ての債券とインド・ルピー以外の通貨建ての債券に投資します。インド・ルピー以外の通貨建ての債券に投資する場合、原則として、為替予約取引および直物為替先渡取引等を活用し、実質的にインド・ルピー建てとなるように為替取引を行ないます。実際の運用においては、政策金利の見通し、金融市場の動向、経済のファンダメンタルズなどを勘案し運用いたします。

■ 1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	一円
有価証券取引税	—
その他費用	43
（保管費用）	(26)
（その他）	(17)
合 計	43

(注 1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出方法については前掲の「1 万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注 2) 各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■主要な売買銘柄
公 社 債

当		期	
買付		売付	
銘柄	金 額	銘柄	金 額
	千円		千円
India Government Bond (インド) 9.23% 2043/12/23	112,083	INTL. FIN. CORP. (国際機関) 6.3% 2024/11/25	272,541
Power Grid Corp of India Ltd (インド) 9.3% 2029/9/4	105,291	Power Grid Corp of India Ltd (インド) 9.3% 2029/9/4	105,538
NTPC Ltd (インド) 9.17% 2024/9/22	102,465	RURAL ELECTRIFICATION CORP LTD (インド) 9.28% 2017/2/15	99,190
Power Finance Corp Ltd (インド) 9.7% 2020/1/31	102,084	INTL. FIN. CORP. (国際機関) 7.8% 2019/6/3	38,428
India Government Bond (インド) 9.2% 2030/9/30	100,256	INTL. FIN. CORP. (国際機関) 6.45% 2018/10/30	27,408
EXPORT IMPORT BANK OF INDIA (インド) 8.15% 2030/1/21	97,565	Bank of India/London (インド) 4.75% 2015/9/30	24,011
Bank of India/London (インド) 3.625% 2018/9/21	76,998	INTL. BK. RECON&DEVELOPMENT (国際機関) 2.125% 2023/2/13	5,997
INDIAN RAILWAY FINANCE CORP LTD (インド) 3.917% 2019/2/26	41,145		
INTL. FIN. CORP. (国際機関) 7.8% 2019/6/3	40,010		
INTL. BK. RECON&DEVELOPMENT (国際機関) 1% 2018/10/5	36,233		

(注 1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注 2) 単位未満は切捨て。

■売買および取引の状況

(1) 公 社 債

(2014年11月13日から2015年11月12日まで)

			買 付 額	売 付 額
			千アメリカ・ドル	千アメリカ・ドル
外 国	アメリカ	特殊債券	495	49
			(—)	(—)
	社 債 券		1,887	200
			(—)	(—)
国	インド	国債証券	千インド・ルピー 112,560	千インド・ルピー —
			(—)	(—)
	特殊債券		93,831	176,454
			(—)	(—)
	社 債 券		159,997	105,268
			(—)	(—)

(注 1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注 2) () 内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注 3) 社債券には新株予約権付社債券（転換社債券）は含まれておりません。

(注 4) 単位未満は切捨て。

(2) 直物為替先渡取引

(2014年11月13日から2015年11月12日まで)

種 類	取 引 契 約 金 額	
	買 建	売 建
	百万円	百万円
直物為替先渡取引	1,914	19

(注 1) インド・ルピー（対象通貨）の買建および売建の金額です。

(注 2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1)外国（外貨建）公社債（通貨別）

作 成 期	当 期				末			
区 分	額 面 金 額	評 価 額		組入比率	うちB B格 以下組入 比 率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
		外 貨 建 金 額	邦貨換算金額			5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
アメリカ	千アメリカ・ドル 2,625	千アメリカ・ドル 2,692	千円 330,847	% 14.6	% —	% 3.9	% 8.0	% 2.7
インド	千インド・ルピー 950,000	千インド・ルピー 995,687	千円 1,861,934	% 82.2	% —	% 73.7	% 4.3	% 4.2
合 計	—	—	2,192,781	96.8	—	77.6	12.3	6.9

(注 1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注 2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注 3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(2)外国（外貨建）公社債（銘柄別）

		当 期		末				
区 分		銘 柄	種 類	年利率	額 面 金 額	評 価 額	償還年月日	
						外 貨 建 金 額	邦貨換算金額	
アメリカ		INTL. BK. RECON&DEVELOPMENT	特殊債券	2.1250	千アメリカ・ドル 45	千アメリカ・ドル 45	千円 5,565	2016/03/15
		INTL. BK. RECON&DEVELOPMENT	特殊債券	2.1250	150	149	18,345	2023/02/13
		INTL. BK. RECON&DEVELOPMENT	特殊債券	1.0000	300	297	36,490	2018/10/05
		Oil India Ltd	社 債 券	5.3750	200	215	26,420	2024/04/17
		Bharti Airtel Ltd	社 債 券	4.3750	240	239	29,384	2025/06/10
		State Bank of India London	社 債 券	4.1250	250	258	31,702	2017/08/01
		ICICI Bank Ltd/Hong Kong	社 債 券	5.7500	100	111	13,678	2020/11/16
		ICICI Bank Ltd/Dubai	社 債 券	4.7000	200	209	25,756	2018/02/21
		INDIAN RAILWAY FINANCE CORP LTD	社 債 券	3.4170	200	203	25,016	2017/10/10
		INDIAN RAILWAY FINANCE CORP LTD	社 債 券	3.9170	320	329	40,483	2019/02/26
		Bank of India/London	社 債 券	3.6250	620	634	78,002	2018/09/21
通貨小計	銘柄数	11銘柄						
	金 額				2,625	2,692	330,847	
インド		India Government Bond	国債証券	8.7900	千インド・ルピー 100,000	千インド・ルピー 104,453	千円 195,327	2021/11/08
		India Government Bond	国債証券	9.1500	50,000	54,151	101,262	2024/11/14
		India Government Bond	国債証券	8.0700	50,000	50,530	94,492	2017/07/03
		India Government Bond	国債証券	8.3300	50,000	51,645	96,576	2026/07/09
		India Government Bond	国債証券	8.9700	150,000	164,079	306,827	2030/12/05
		India Government Bond	国債証券	7.1600	100,000	96,398	180,264	2023/05/20
		India Government Bond	国債証券	8.3200	50,000	51,554	96,406	2032/08/02
		India Government Bond	国債証券	8.2800	100,000	103,037	192,679	2027/09/21
		India Government Bond	国債証券	8.3000	50,000	51,893	97,039	2042/12/31
		India Government Bond	国債証券	9.2300	50,000	56,812	106,239	2043/12/23
		India Government Bond	国債証券	9.2000	50,000	55,125	103,083	2030/09/30
		EXPORT IMPORT BANK OF INDIA	特殊債券	8.1500	50,000	50,244	93,956	2030/01/21
		Power Finance Corp Ltd	社 債 券	9.7000	50,000	52,467	98,114	2020/01/31
		NTPC Ltd	社 債 券	9.1700	50,000	53,297	99,665	2024/09/22
通貨小計	銘柄数	14銘柄						
	金 額				950,000	995,687	1,861,934	
合 計		銘柄数	25銘柄					
	金 額						2,192,781	

(注 1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注 2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

ダイワ・インド・ルピー債マザーファンド

(3) 直物為替先渡取引残高

2015年11月12日現在

種 類	取 引 契 約 残 高	
	想 定 元 本 額	
	買 建	売 建
	百万円	百万円
直物為替先渡取引	338	7

(注1) インド・ルピー（対象通貨）の買建および売建の金額です。
(注2) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2015年11月12日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	2,192,781	96.5
コール・ローン等、その他	78,369	3.5
投資信託財産総額	2,271,151	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。
(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、11月12日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝122.86円、1インド・ルピー＝1.87円です。
(注3) 当期末における外貨建純資産（2,256,611千円）の投資信託財産総額（2,271,151千円）に対する比率は、99.4%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2015年11月12日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	2,278,787,959円
コール・ローン等	17,473,682
公社債（評価額）	2,192,781,964
未収入金	7,639,654
未収利息	56,975,725
前払費用	3,916,934
(B) 負債	13,411,486
未払金	12,336,486
未払解約金	940,000
その他未払費用	135,000
(C) 純資産総額（A－B）	2,265,376,473
元本	1,220,335,308
次期繰越損益金	1,045,041,165
(D) 受益権総口数	1,220,335,308口
1万口当り基準価額（C／D）	18,564円

*期首における元本額は1,061,255,961円、当期中における追加設定元本額は253,462,683円、同解約元本額は94,383,336円です。
*当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、インド・ボンド・オープン（毎月決算型）117,089,780円、ダイワ・インド・ルピー債オープン（毎月分配型）1,103,245,528円です。
*当期末の計算口数当りの純資産額は18,564円です。

■損益の状況

当期 自2014年11月13日 至2015年11月12日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	144,366,096円
受取利息	144,366,096
(B) 有価証券売買損益	13,812,893
売買益	58,954,085
売買損	△ 45,141,192
(C) 先物取引等損益	△ 2,560,395
取引益	13,368,024
取引損	△ 15,928,419
(D) その他費用	△ 4,850,645
(E) 当期損益金（A＋B＋C＋D）	150,767,949
(F) 前期繰越損益金	759,377,208
(G) 解約差損益金	△ 77,265,664
(H) 追加信託差損益金	212,161,672
(I) 合計（E＋F＋G＋H）	1,045,041,165
次期繰越損益金（I）	1,045,041,165

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。
(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

《お知らせ》

●書面決議手続きの改正について

重大な約款変更や繰上償還の際に行なう書面決議について、2014年12月1日施行の法改正により以下の点が変更されたことに伴い、信託約款の該当箇所の変更を行ないました。

- 書面決議の可決要件が、「受益者の半数以上の賛成かつ受益者の保有する議決権の3分の2以上の賛成を得ること」から「受益者の保有する議決権の3分の2以上の賛成を得ること」に変更されました。
- 投資信託の併合を行なう際、すべての場合で書面決議が必要とされてきましたが、その併合が受益者の利益に及ぼす影響が軽微なものであるときは、当該併合に関する書面決議が不要となりました。
- 書面決議に反対した受益者による受益権買取請求の規定について、一部解約請求に応じる投資信託（当ファンドは該当します。）には適用されなくなりました。